



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 新家工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,325	1.7	302	33.4	353	36.9	187	51.4
2019年3月期第1四半期	10,499	12.3	453	23.8	559	15.7	386	15.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 88百万円 ( 57.9%) 2019年3月期第1四半期 208百万円 ( 68.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	33.69	
2019年3月期第1四半期	69.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	46,562	24,972	50.4
2019年3月期	46,369	25,246	51.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,463百万円 2019年3月期 23,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	0.5	800	16.0	900	16.3	600	9.0	107.70
通期	43,500	0.6	1,900	7.9	2,000	10.6	1,200	20.2	215.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,045,326 株	2019年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	474,314 株	2019年3月期	474,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,571,061 株	2019年3月期1Q	5,527,411 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦等の影響により景気回復基調に一段落が出始め、輸出の伸び悩みに伴い企業収益が悪化しつつあります。

このような情勢のもと鋼管業界におきましては、原材料価格の上昇が続く中、首都圏の再開発や物流倉庫などの需要が好調に推移しました。

普通鋼製品につきましては、自動車関連の先行きに不透明感が懸念される一方で、建設関連を中心に受注確保に努めました。

ステンレス鋼製品につきましては、設備投資にあたり人手不足や設備の老朽化を背景とした合理化・省力化のための更新など、堅調に推移しました。

なお、電解研磨を施した耐食性・洗浄性・意匠性に優れたステンレス鋼管につきましては、鉄道車両のほか商業施設などの他分野への販路拡大が見込まれております。

当社グループといたしましては、普通鋼製品・ステンレス鋼製品について原材料価格が上昇し景気の先行きが不安視される中で、製品の安定供給に努め、主力の鋼管事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図るよう積極的な営業展開を実施するとともに、設備稼働率の向上とコスト削減に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,325百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益302百万円（前年同期比33.4%減）、経常利益353百万円（前年同期比36.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は187百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円増加しました。流動資産は29,563百万円となり331百万円の減少となりました。これは主に、商品及び製品の増加492百万円と受取手形及び売掛金の減少515百万円、原材料及び貯蔵品の減少187百万円であります。固定資産は16,998百万円となり524百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産のその他（純額）の増加824百万円と投資有価証券の減少269百万円であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は21,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円増加しました。流動負債は18,804百万円となり1,317百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加1,212百万円であります。固定負債は2,784百万円となり851百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少850百万円であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は24,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少174百万円、その他有価証券評価差額金の減少186百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦の激化やそれに伴う中国経済減速、韓国向け輸出管理強化等、世界経済の先行き不透明感の増大に加え、消費税増税による個人消費の鈍化が懸念される国内景気の中で、経営環境は厳しい状況が続くものと思われまます。

鋼管業界におきましては、大型公共投資の増加や都市再開発による根強い建設需要により、鋼管製品需要は底堅く推移するものと予想されます。

当社グループでは、主力の鋼管製品を中心に引続き提案型営業の推進と固有の製品開発に重点を置き、グループ企業間の連携を強化することにより経営基盤の更なる安定化を図るとともに、関西工場を中心とした鋼管事業の生産体制の再編に注力し、一層のコストダウンを推し進めることで、効率的な生産・販売活動を行ってまいります。

また、連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,052	8,119
受取手形及び売掛金	10,582	10,066
電子記録債権	3,737	3,701
商品及び製品	5,317	5,809
仕掛品	484	386
原材料及び貯蔵品	1,425	1,238
その他	435	375
貸倒引当金	△140	△134
流動資産合計	29,895	29,563
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,636	4,642
その他（純額）	5,242	6,067
有形固定資産合計	9,879	10,709
無形固定資産	55	51
投資その他の資産		
投資有価証券	6,069	5,800
その他	481	449
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	6,539	6,237
固定資産合計	16,474	16,998
資産合計	46,369	46,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,454	10,170
電子記録債務	529	531
短期借入金	3,368	4,580
未払法人税等	197	57
賞与引当金	419	236
事業構造改善引当金	475	475
災害損失引当金	17	—
その他	2,024	2,752
流動負債合計	17,486	18,804
固定負債		
長期借入金	850	—
役員退職慰労引当金	29	32
環境対策引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,061	1,999
資産除去債務	7	7
その他	667	725
固定負債合計	3,636	2,784
負債合計	21,122	21,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,171	4,171
利益剰余金	15,091	14,917
自己株式	△694	△694
株主資本合計	22,509	22,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,168	1,982
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△510	△479
退職給付に係る調整累計額	△395	△374
その他の包括利益累計額合計	1,263	1,128
非支配株主持分	1,474	1,509
純資産合計	25,246	24,972
負債純資産合計	46,369	46,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,499	10,325
売上原価	8,607	8,564
売上総利益	1,892	1,761
販売費及び一般管理費	1,438	1,458
営業利益	453	302
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	71	73
仕入割引	7	6
為替差益	31	—
その他	14	20
営業外収益合計	126	101
営業外費用		
支払利息	8	7
売上割引	7	7
為替差損	—	23
その他	4	11
営業外費用合計	20	50
経常利益	559	353
特別利益		
固定資産売却益	0	2
段階取得に係る差益	28	—
特別利益合計	28	2
特別損失		
固定資産除却損	3	3
特別損失合計	3	3
税金等調整前四半期純利益	585	351
法人税、住民税及び事業税	67	28
法人税等調整額	88	102
法人税等合計	155	131
四半期純利益	429	220
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	386	187

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	429	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	△187
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△138	33
退職給付に係る調整額	22	20
その他の包括利益合計	△220	△132
四半期包括利益	208	88
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	53
非支配株主に係る四半期包括利益	31	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,203	179	109	10,491	7	10,499	—	10,499
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,203	179	109	10,491	7	10,499	—	10,499
セグメント利益又は損失 (△)	413	△4	92	501	△0	500	△46	453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「鋼管関連」セグメントにおいて、ステンレスパイプ工業株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが43百万円発生しております。のれんの償却額43百万円があり、のれんの未償却残高はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,055	149	118	10,323	2	10,325	—	10,325
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,055	149	118	10,323	2	10,325	—	10,325
セグメント利益又は損失 (△)	249	△23	99	325	0	326	△24	302

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。